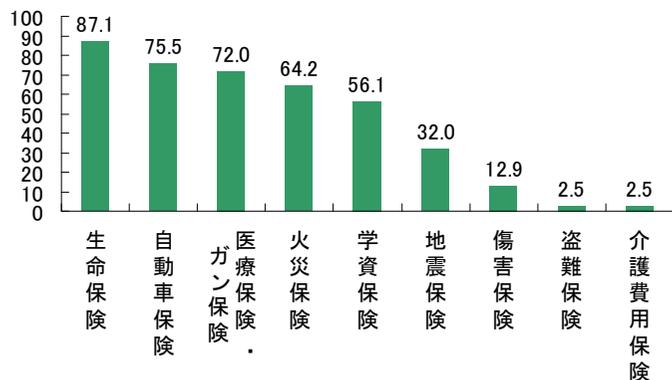




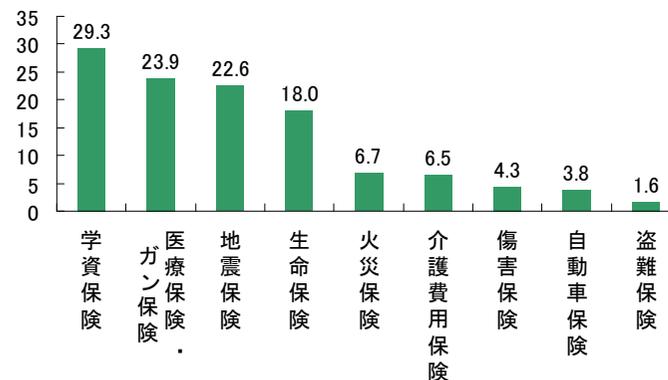
加入トップは変わらず生命保険、学資保険に高い関心

加入している人が最も多い保険・共済商品は生命保険で、2011よりも6.2ポイント増加したほか(グラフ①)、特筆すべき変化は、加入を検討している保険・共済商品の割合が全体として飛躍的に多くなったことである。2011は東日本大震災の影響か、前年よりも倍近くの関心を集めて1位だった地震保険の数字は1.2ポイント増にとどまったが、学資保険は15.6ポイント、生命保険は9.1ポイント、医療保険・ガン保険は8.7ポイントと軒並み増加。先行きの見えない今、少しでも安心な将来を用意しておきたいという不安の表れなのだろうか(グラフ②)。

グラフ①家庭で加入している保険・共済商品はどれですか?(複数回答) (n=604)



グラフ②今後家庭で加入を考えている保険・共済商品はどれですか?(複数回答) (n=372)



園児とママの情報誌「あんふぁん」 私立幼稚園に通う園児とママのための情報誌。子育て情報はもちろん、地域密着情報を発信し子育てライフをサポートしています。

(あんふぁんサイト <http://www.enfanble.jp/>)

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430

<調査概要>

●2012年7月27日～8月9日実施の「あんふぁん」WEBアンケートの回答から、611件を集計

<調査実施>あんふぁん